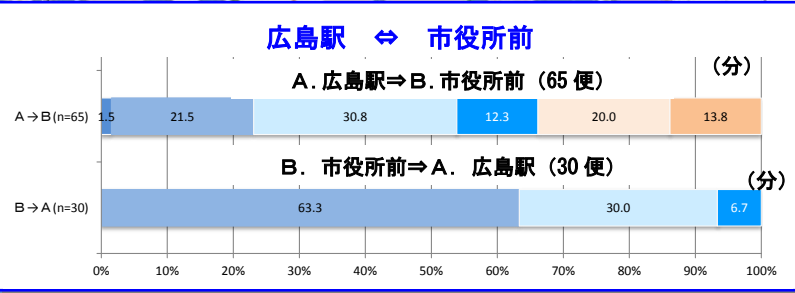
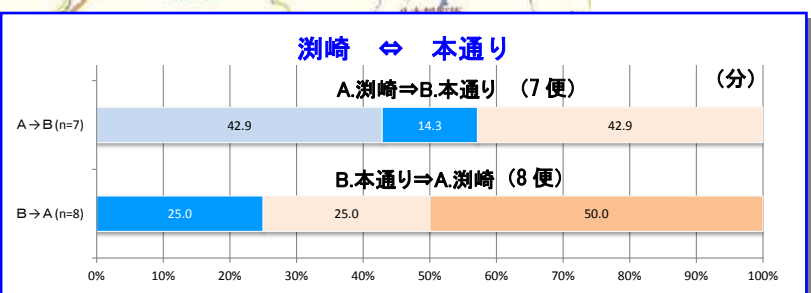
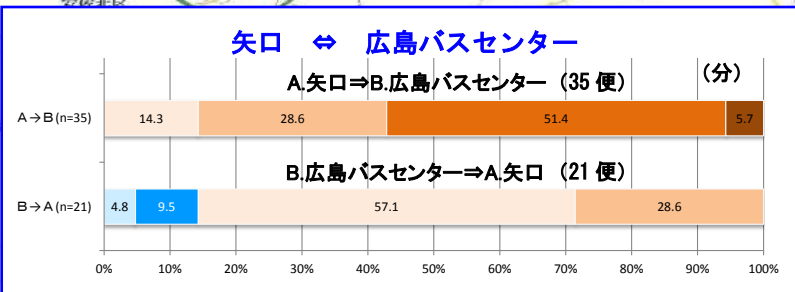
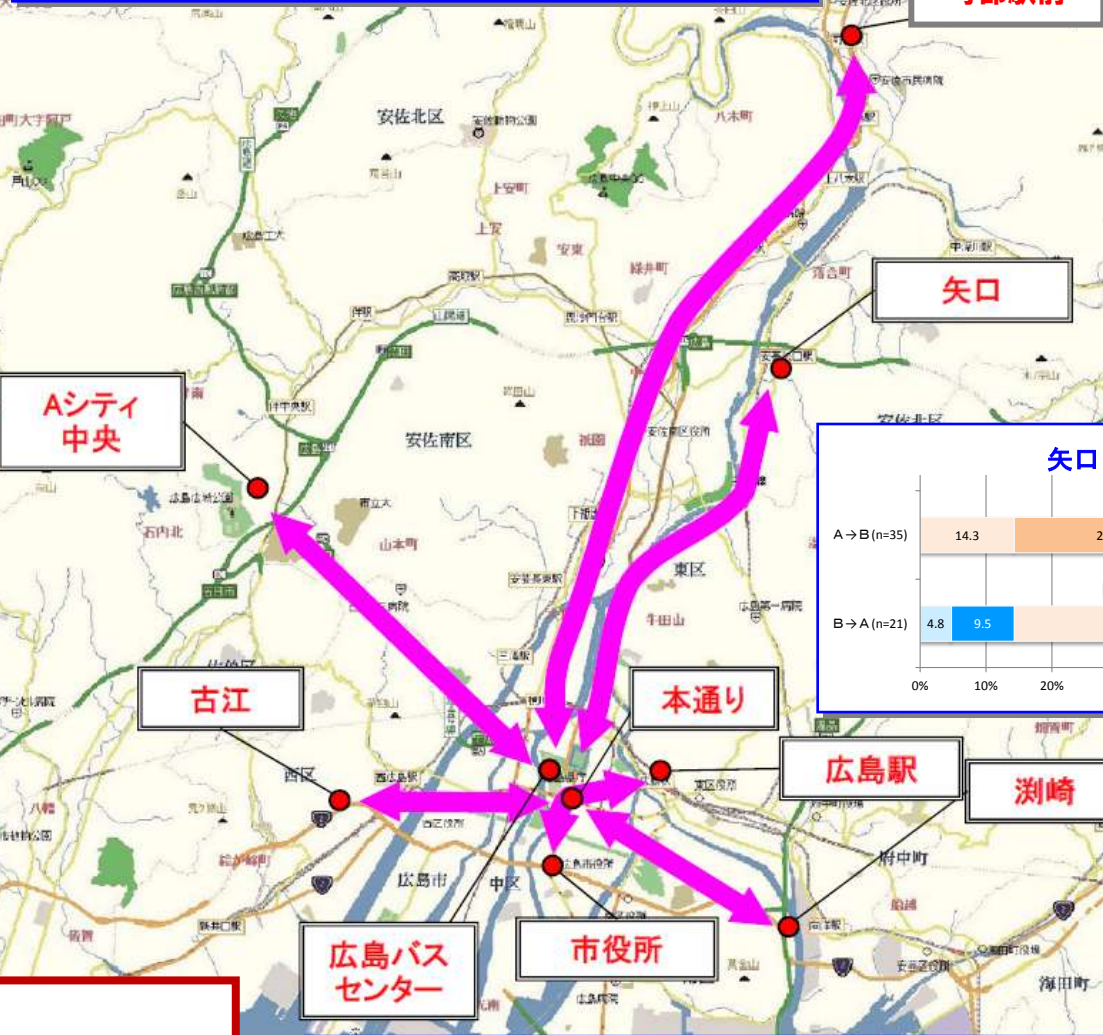
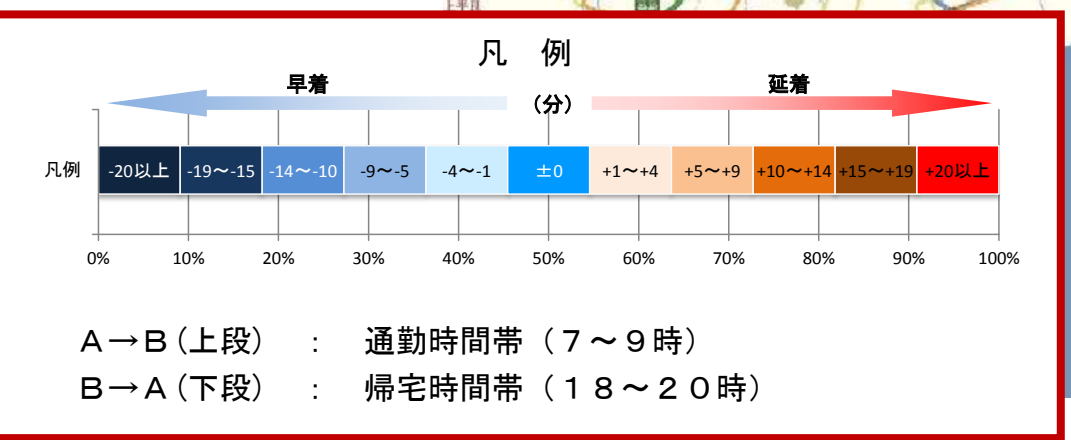
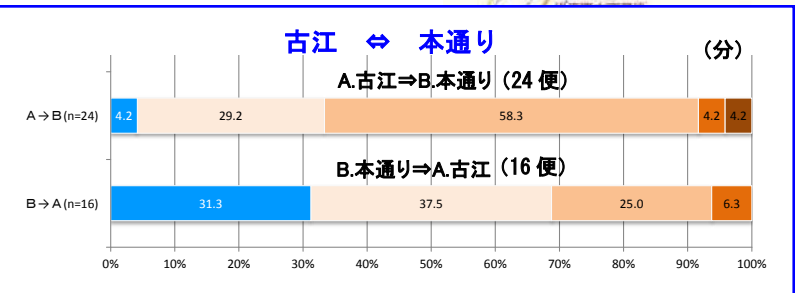
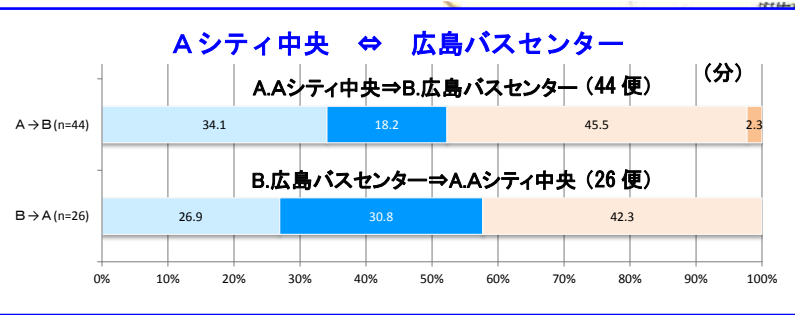
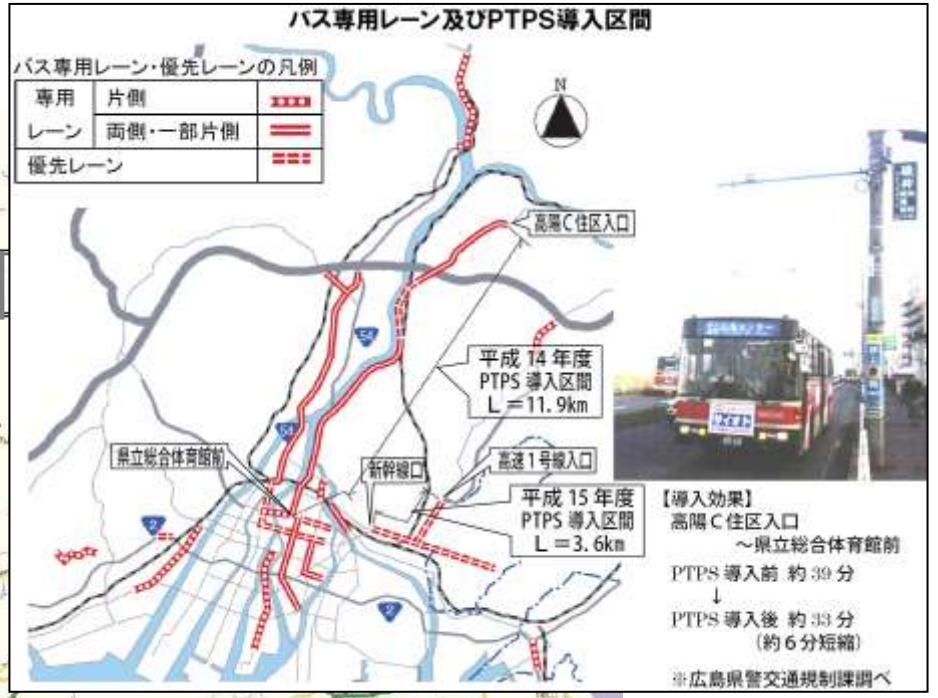
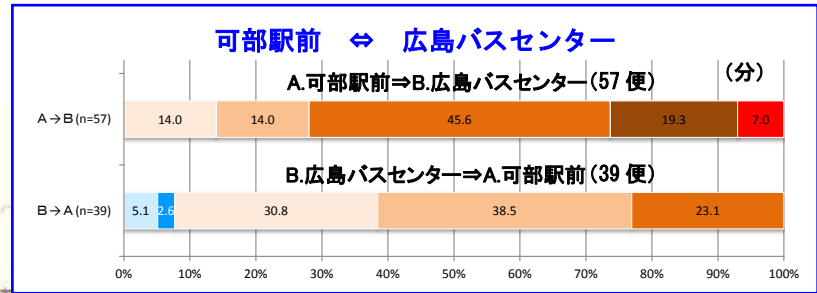


(2) 定時性の確保状況

- ・ 北部方面が、定時性が十分でない傾向がある。
- ・ PTPS やバス専用レーンを導入しているにもかかわらず、通勤・通学時間帯における「可部駅前⇒広島バスセンター」の約70%、「矢口⇒広島バスセンター」の約60%の到着が約10分以上遅れる状況にあるが、これはバス事業者によって、ピーク時もオフピーク時と同様の所要時間でダイヤを設定（可部駅前・広島バスセンター間の平日朝ピーク時間帯で最大14分の差）しているためである。
- ・ 定時性が保たれていないことの要因としては、デルタ流出入部での旅行速度の低下が原因と考えられる。

調査概要

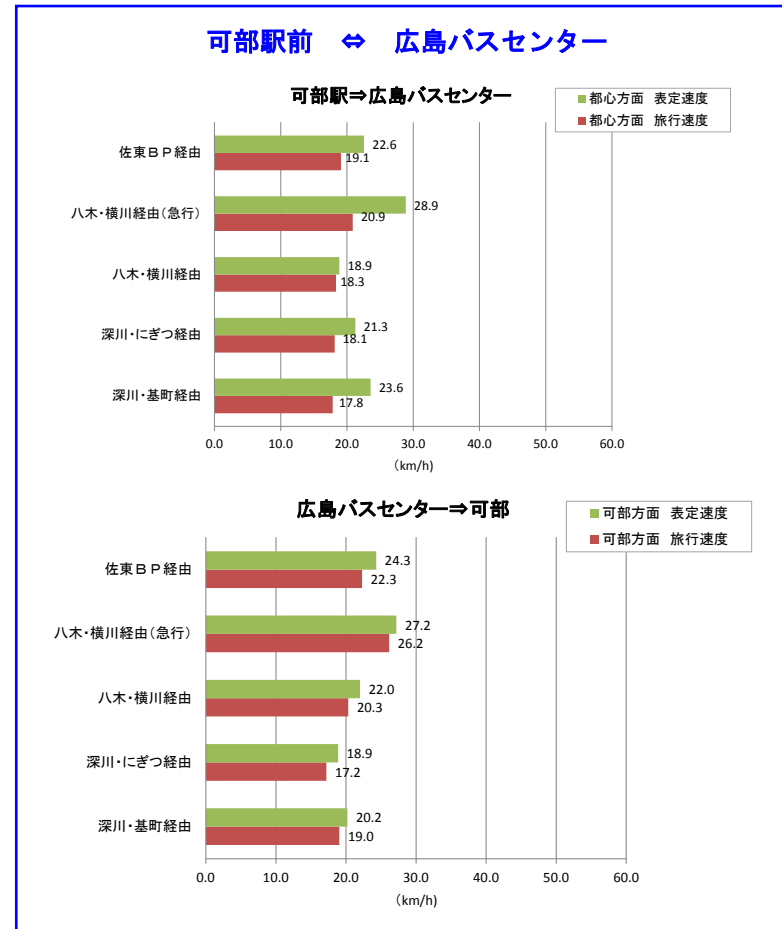
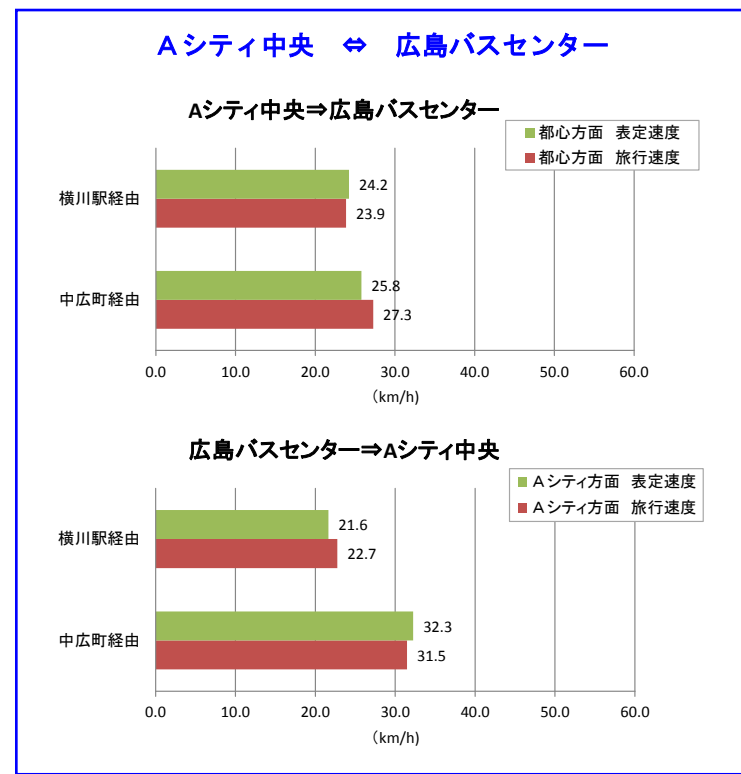
調査方法	各指定路線の起点及び終点バス停で、目視により出発・到着時間・ナンバー・系統番号を観測し定時性を把握し、時刻表に対する定時性を把握	
調査日時	H26.1.21(火) 7~9時、18~20時 晴	
調査対象便数	朝：古江 ⇒ 本通り	24便
	夕：本通り ⇒ 古江	16便
	朝：淵崎 ⇒ 本通り	7便
	夕：本通り ⇒ 淵崎	8便
	朝：可部駅前 ⇒ 広島バスセンター	57便
	夕：広島バスセンター ⇒ 可部駅前	39便
	朝：矢口 ⇒ 広島バスセンター	35便
	夕：広島バスセンター ⇒ 矢口	21便
朝：広島駅 ⇒ 市役所前	65便	
夕：市役所前 ⇒ 広島駅	30便	
朝：Aシティ中央 ⇒ 広島バスセンター	44便	
夕：広島バスセンター ⇒ Aシティ中央	26便	



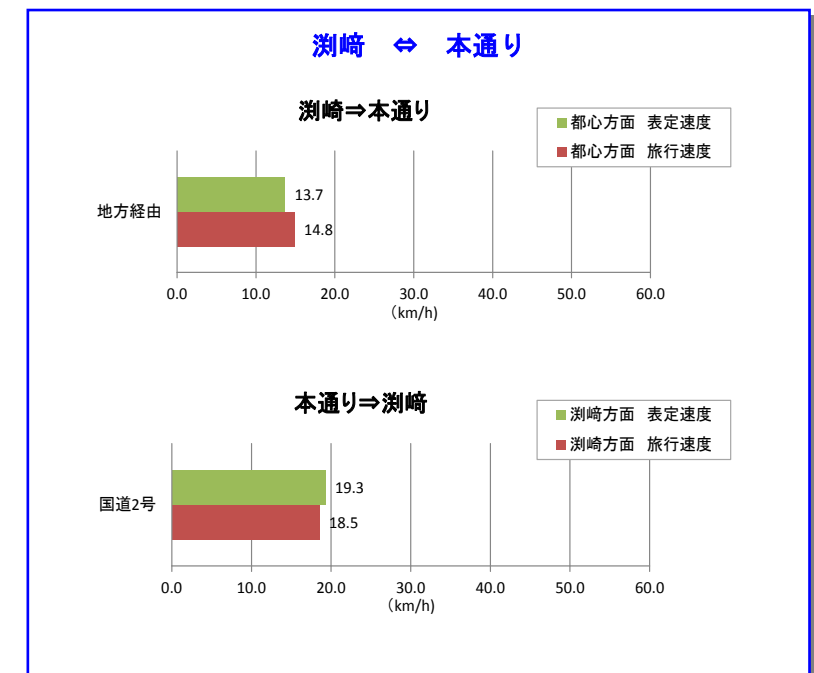
(3) 速達性の確保状況

- ・ 表定速度に対し、旅行速度がかなり落ちている区間があり、速達性に課題がある。

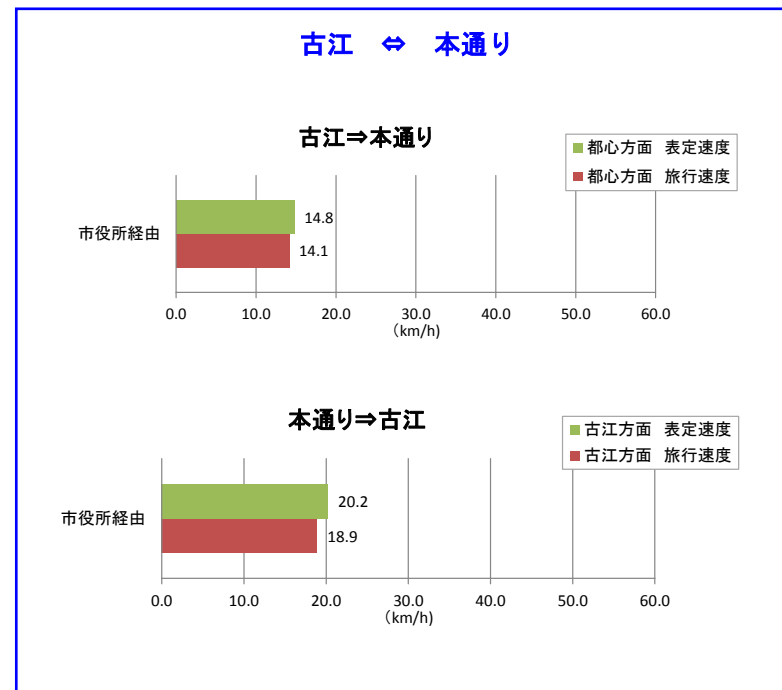
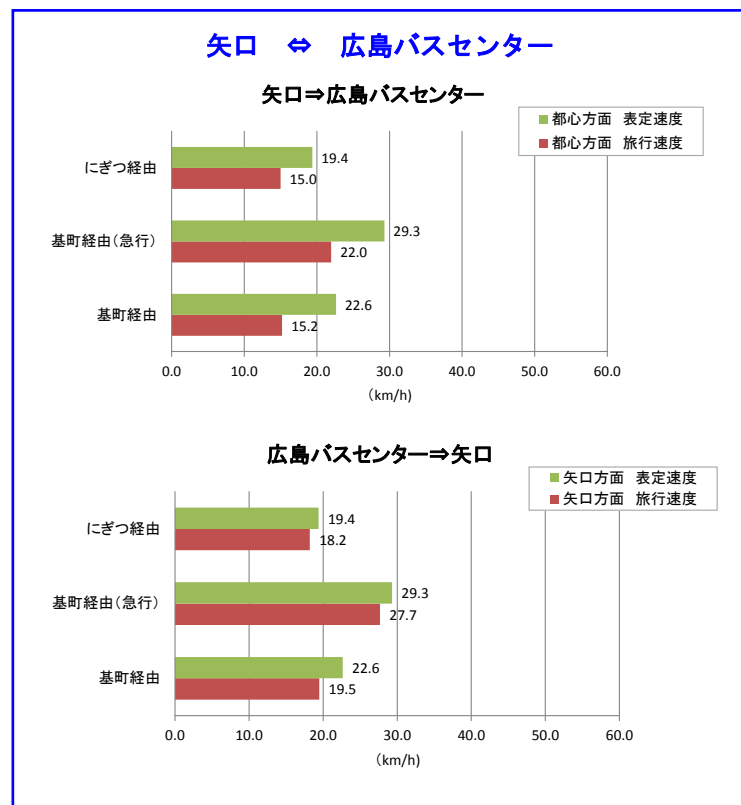
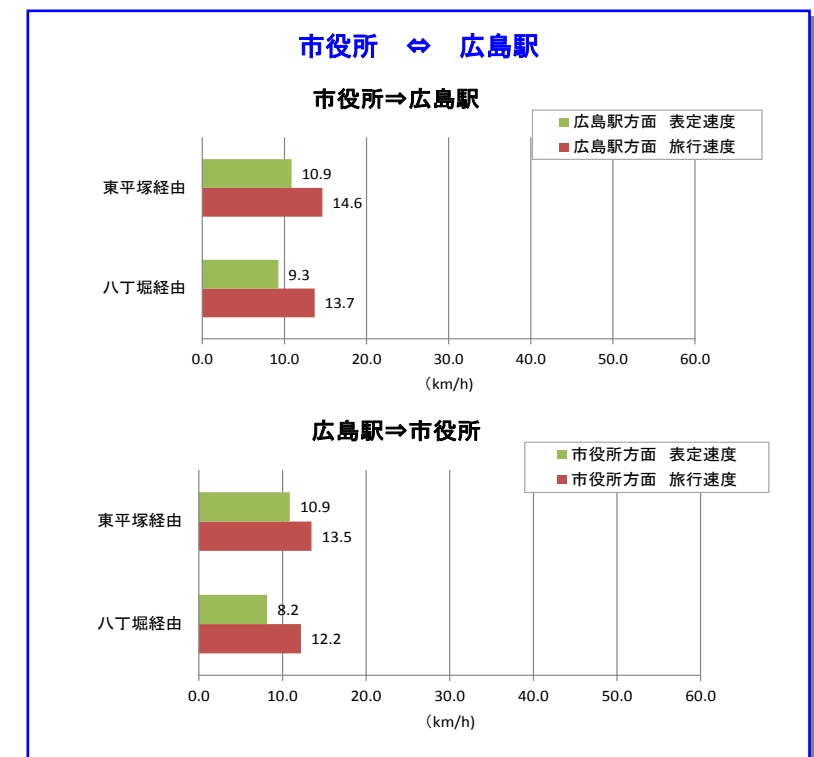
郊外部・都心間の速達性



都心周辺部・都心間の速達性(参考)



都心内の速達性(参考)



表定速度と旅行速度の比較

資料) 広島市道路交通局
 ※表定速度: 時刻表より算出
 旅行速度: 定時性調査より算出